

# 国土地理院報告

令和3年度 沖縄県管理河川の大規模氾濫に関する減災協議会

# 重ねるハザードマップとは？

01

# わがまちハザードマップとは？

02

防災に役立つ災害リスク情報などを地図や写真に自由に重ねて表示することができます



必要な情報を自由に重ねあわせる

防災に役立つ情報を一元的に閲覧できます

## 閲覧できる情報

**洪水浸水想定区域**  
河川氾濫により浸水が想定される区域と浸水深が閲覧可能。想定最大規模と計画規模があります。

**道路冠水想定箇所**  
アンダーパスなど、大雨の際に冠水し、車両が水没するなどの重大な事故が起きる可能性がある箇所。

**緊急輸送道路**  
災害直後から、避難・救助・物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な道路。

**事前通行規制区間**  
大雨などで土砂崩れや落石の恐れのある箇所について、規制の基準を定めて、災害が発生する前に通行止めなどの規制を実施する区間。

**代表的な災害の航空写真**  
代表的な過去の災害について航空写真を閲覧可能。

**指定緊急避難場所**  
各種災害に対応する緊急的に避難する場所を閲覧可能。

**【その他に閲覧できる情報】**

- ・ため池浸水想定区域
- ・治水地形分類図
- ・津波浸水想定
- ・明治期の低湿地
- ・土砂災害警戒区域等
- ・活断層図
- ・土砂災害危険箇所
- ・火山基本図
- ・予防的通行規制区間
- ・火山土地条件図
- ・過去から現在までの空中写真
- ・色別標高図
- ・土地条件図
- ・自由な色別標高図
- ・沿岸海域土地条件図
- ・大規模盛土造成地

全国の市町村が作成したハザードマップを地図や災害種別から簡単に検索することができます

**わがまちハザードマップトップページ**

地図から選択する

**災害種別から選択する**

青色で表示されている市町村はインターネットでハザードマップを公開しています

**各市町村のページ**

各市町村のハザードマップ公開ページに移動しハザードマップを閲覧できます

洪水、津波、土砂災害、ため池ハザードマップを公開していることがわかります

<活用例1>  
「土石流危険渓流」+「事前通行規制区間」+「洪水浸水想定区域」+「道路冠水想定箇所」



大雨時に通行が規制される箇所、リスクのある場所を地図上に表示することにより、事前に避難ルートの検討を行うことができます。

<活用例2>  
「活断層図」+「大規模盛土造成地」+「急傾斜地崩壊危険箇所」



活断層の位置、がけ崩れのおそれがある場所、人工的に盛った地盤の場所を重ね合わせて、地震に関する様々な災害危険性を把握できます。

## 閲覧できる主な情報

<p><b>洪水ハザードマップ</b></p> <p>河川が氾濫した時に想定される浸水域や浸水深、避難場所等を表示</p> <p>東京都大田区洪水ハザードマップ</p>	<p><b>内水ハザードマップ</b></p> <p>下水道等の排水能力を超えた大雨の際に想定される浸水域や浸水深を表示</p> <p>東京都港区浸水ハザードマップ</p>	<p><b>高潮ハザードマップ</b></p> <p>台風等の影響により、海水が堤防を越えて浸水が想定される地域と浸水深を表示</p> <p>山口県下関市高潮ハザードマップ</p>	<p><b>火山ハザードマップ</b></p> <p>火山噴火により噴石、火砕流、融雪型火山泥流等の影響が及ぶ範囲を表示</p> <p>北海道白老町柳町山火山防災マップ</p>
<p><b>津波ハザードマップ</b></p> <p>津波が陸上に押し寄せたときの浸水域や浸水深を表示</p> <p>高知県高知市津波ハザードマップ</p>	<p><b>土砂災害ハザードマップ</b></p> <p>土砂災害（急傾斜地の崩壊、土石流、地すべり）の発生危険地域を表示</p> <p>栃木県大田原市土砂災害ハザードマップ</p>	<p><b>ため池ハザードマップ</b></p> <p>ため池が決壊した時に想定される浸水域や浸水深等を表示</p> <p>青森県むつ市ため池ハザードマップ</p>	<p><b>震度被害(ゆれやすさ)マップ</b></p> <p>地震時の、震度などの揺れの大きさを表示</p> <p>静岡県三島市揺れやすさ・防災マップ</p>

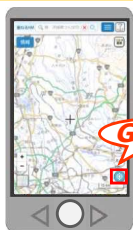
# 災害リスクを簡単に調べる

03

ある地点の自然災害リスクをまとめて調べることができます

<例> 居住地 (〇〇県××市) の災害リスクを調べる

現在地から検索



GPS

スマートフォン等のGPS機能を活用し  
現在地を取得

住所から検索



ハザードマップポータルサイトトップページより  
住所検索フォームに住所を入力

地図から検索



「リスクをまとめて表示」を選択し  
調べたい場所をクリック



ある地点の自然災害リスクを確認できます



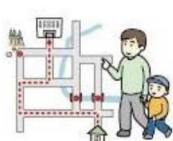
各市町村の公開している  
ハザードマップが表示されます

市区町村名をクリックすることにより、  
「わがまちハザードマップ」の  
該当市町村ページへリンクします。

## ハザードマップポータルサイトの活用例

### 住民

- ・避難ルート、避難方法の検討
- ・自宅付近の災害リスク確認
- ・浸水対策の検討
- ・地震対策の検討



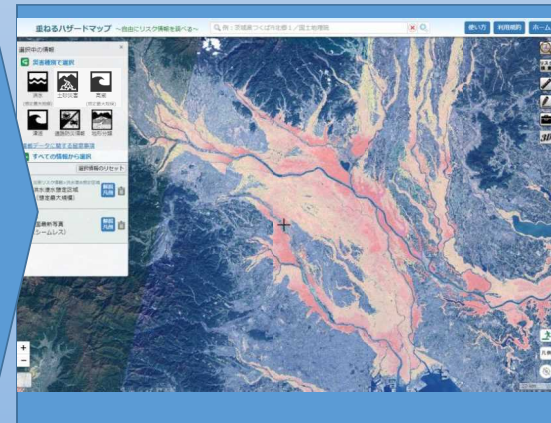
### 行政

- ・防災計画、避難計画等の策定
- ・周辺市町村の災害リスクの確認
- ・公共施設の立地検討、安全度評価
- ・住民への注意喚起



## 重ねるハザードマップ

災害リスク情報などを自由に重ねて表示できます



## ハザードマップポータルサイト

全国の防災に役立つ情報を閲覧できます

URL: <https://disaportal.gsi.go.jp/>



ハザードマップ

検索

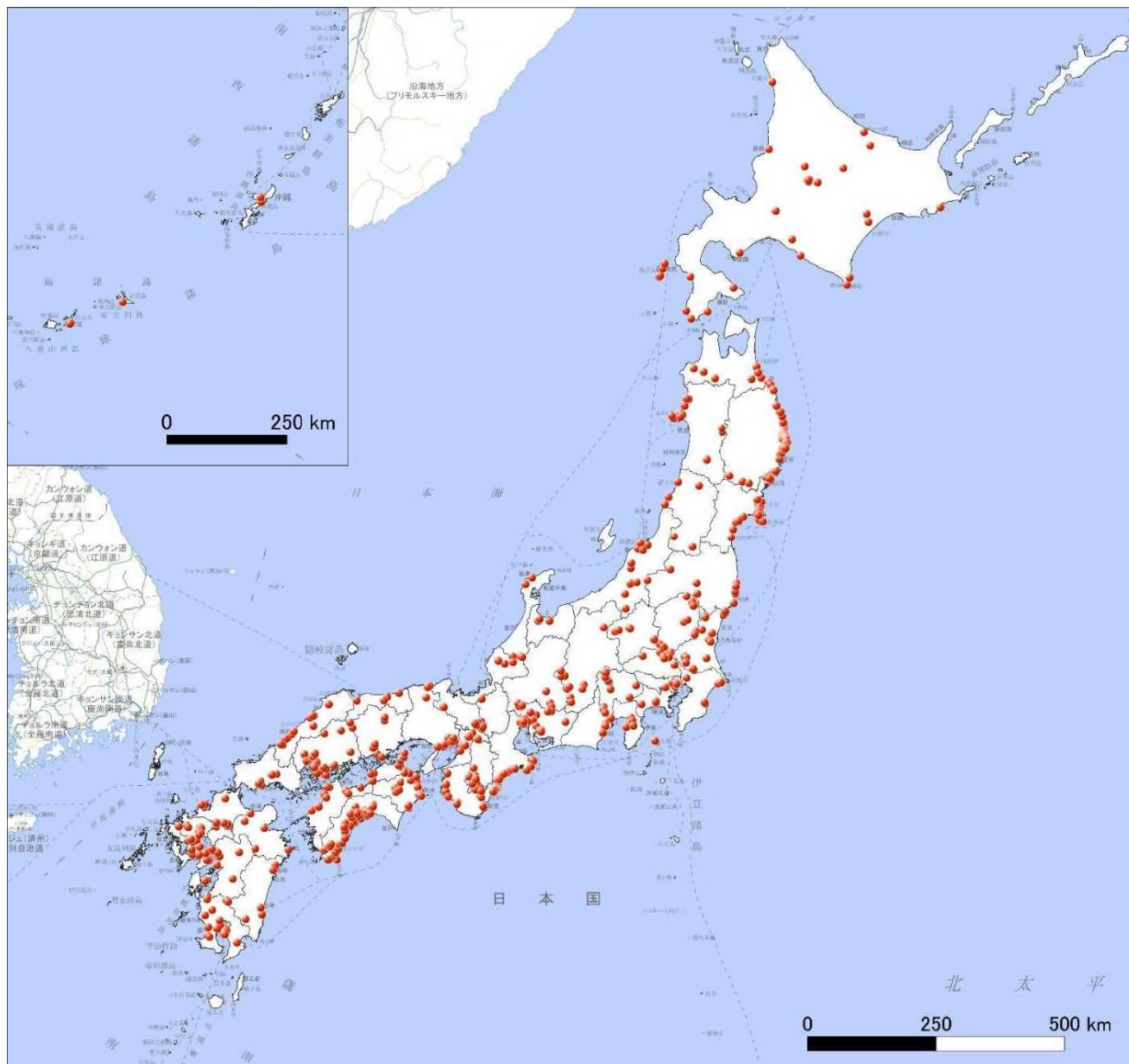


## わがまちハザードマップ

全国各市町村のハザードマップを検索できます

## 掲載分布図

地理院地図での公開数は47都道府県279市区町村  
の936基（令和3年5月14日時点）



## 都道府県の登録基数

北海道	33	滋賀県	7
青森県	12	京都府	8
岩手県	109	大阪府	7
宮城県	43	兵庫県	44
秋田県	15	奈良県	25
山形県	7	和歌山県	28
福島県	9	鳥取県	6
茨城県	28	島根県	12
栃木県	10	岡山県	15
群馬県	12	広島県	35
埼玉県	14	山口県	7
千葉県	13	徳島県	21
東京都	23	香川県	15
神奈川県	6	愛媛県	12
新潟県	14	高知県	80
富山県	8	福岡県	14
石川県	4	佐賀県	19
福井県	8	長崎県	16
山梨県	19	熊本県	11
長野県	15	大分県	5
岐阜県	9	宮崎県	7
静岡県	18	鹿児島県	22
愛知県	25	沖縄県	6
三重県	60		

# 自然災害伝承碑(沖縄県内の情報)

概要	
碑名	明和大津波遭難者慰霊之塔
災害名	明和大津波 (1771年4月24日)
災害種別	地震・津波
建立年	1983年 昭和58年
所在地	沖縄県石垣市字宮良689
伝承内容	明和大津波は1771年(明和8年)、石垣島南東沖を震源とするマグニチュード7.4の地震による大津波で、先島諸島に甚大な被害をもたらした。津波に襲われた八重山諸島では死者・行方不明者が9313人にのぼった。



明和大津波遭難者慰霊碑  
(石垣市字宮良)

概要	
碑名	石垣島東海岸の津波石群 津波大石(つなみうらいし)
災害名	津波 (不詳)
災害種別	地震・津波
建立年	不明
所在地	沖縄県石垣市字大浜
伝承内容	年代測定調査で約2000年前の津波で今の場所に移動したということがわかってきた石です。明和大津波以前にも大きな津波がこの地を襲ったという数回にわたる重要な津波大石です。



津波大石  
(石垣市字大浜)

概要	
碑名	乾隆三十六年大波の碑
災害名	明和大津波 (1771年4月24日)
災害種別	地震・津波
建立年	不明
所在地	沖縄県宮古島市下地与那覇 覇前原839番地1
伝承内容	明和8年(乾隆36)3月10日(1771年4月24日)、石垣島南東沖を震源とする地震が発生した。大津波が宮古/八重山両列島を襲い、多良間、水納を含む宮古の死者2548人との記録がある。宮古島南岸の被害が特に甚大で、犠牲者の多くが船浜に流れ着き、その遺体は崩山に合葬された。



乾隆三十六年大波の碑  
(宮古島市下地与那覇)

概要	
碑名	屋我地大橋の歴史
災害名	津波 (1960年5月24日)
災害種別	津波
建立年	不明
所在地	沖縄県名護市真喜屋
伝承内容	1963年に完成した現地の屋我地大橋は、わずか7年後の1960年地球の連珠震動で陥没する事となり、約2ヶ月間の工期を経て完成した予り津波により崩壊してしまいました。



屋我地大橋の歴史  
(名護市字真喜屋)

概要	
碑名	津波被災地跡
災害名	津波 (1960年5月24日)
災害種別	津波
建立年	1965
所在地	沖縄県名護市真喜屋
伝承内容	昭和35年(1960)5月23日赤米子(約高)18.5の地震が起き津波が発生。津波は大津波を襲い、屋我地には、真喜屋小学校があったが津波により全壊が壊滅され、地帯での死者は3人。



津波被災地跡  
(名護市字真喜屋)

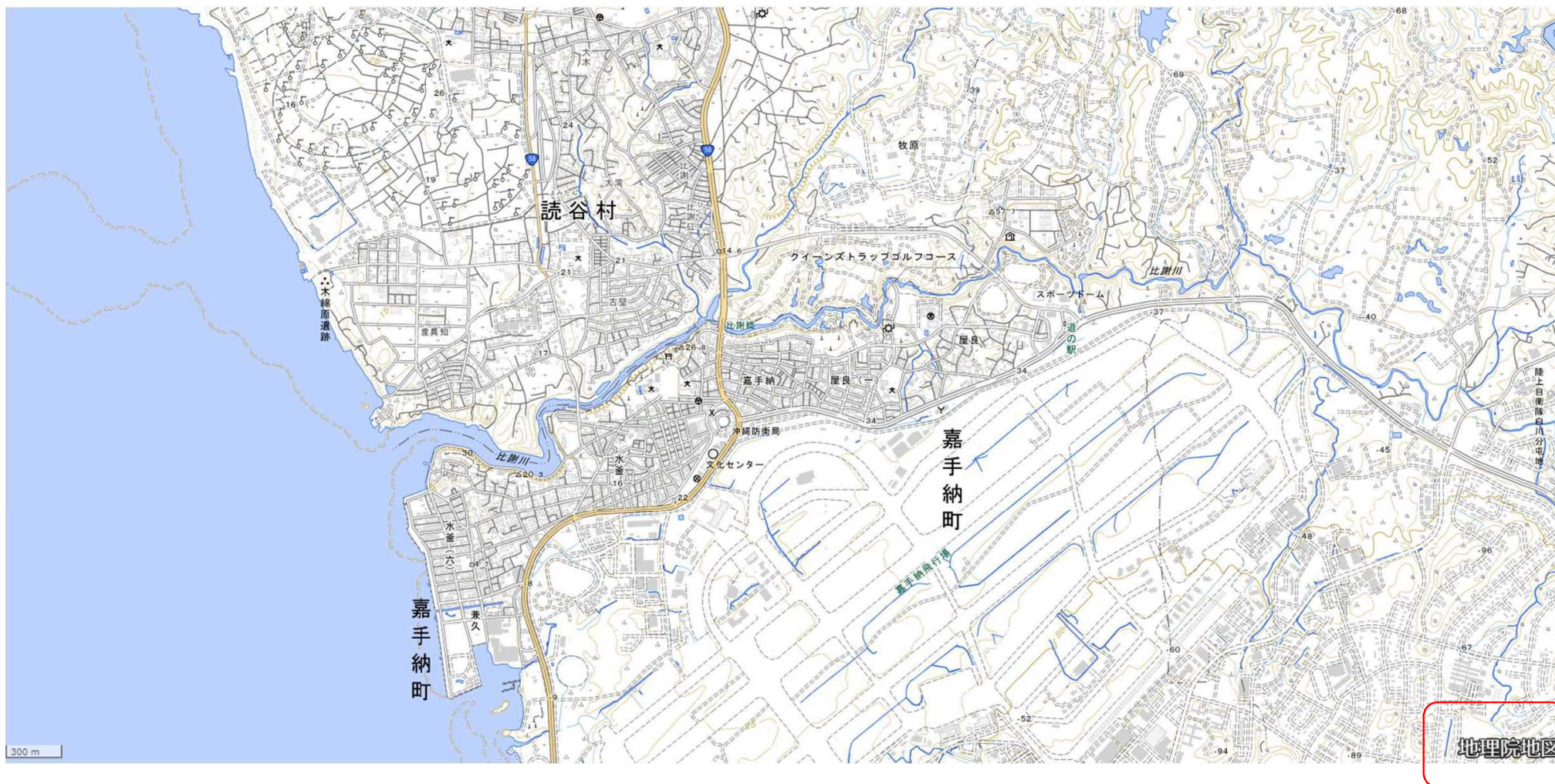
概要	
碑名	津波襲来の碑
災害名	津波 (1960年5月24日)
災害種別	津波
建立年	2012
所在地	沖縄県名護市大浦
伝承内容	昭和35年(1960)5月赤米子(約高)18.5の地震が起き大津波が発生。津波は大津波を襲い、屋我地には、真喜屋小学校があったが津波により全壊が壊滅され、地帯での死者は3人。



津波襲来の碑  
(名護市字大浦)

沖縄県内には、津波関連の自然災害伝承碑が3市町村6基登録されています。  
自然災害伝承碑ではないかという情報がありましたら国土地理院沖縄支所まで報告願います。

- ・地理院地図にクレジットの作成をして画像として保存出来る。
- ・画像右下に地理院地図とロゴが出来て切り取らずに使用することで出典の明示になる。
- ・報道発表資料や報告書に使用する場合、地理院に測量法に関する手続きはいりません。外部に配布してもかまいません。



ここにロゴが入る

# 「地理院地図」ロゴ入り画像作成

## 作成方法

- ① 地理院地図右上の左から3番目 共有 をクリック。
- ② 情報が出るので 左から3番目の 山の絵の様なものをクリック。
- ③ 画像にする範囲 3とおりにあるものから選び OK。
- ④ 画像に「地理院地図」クレジットを表示 チェックを入れる。
- ⑤ 画像を保存 ダウンロードに格納される .pngで画像作成される

The screenshot shows the GSI map interface with several key elements highlighted by red circles and numbered callouts:

- ①** The '共有' (Share) button in the top right corner of the map interface.
- ②** A sharing menu that appears, with the '共有' (Share) option selected.
- ③** A dialog box titled '画像にする範囲を選択' (Select range to convert to image) with the '表示されている範囲全体' (All visible range) option selected.
- ④** A confirmation dialog box with the checkbox '画像に「地理院地図」クレジットを表示' (Display 'Geospatial Information Authority of Japan' credit in image) checked.
- ⑤** The '画像を保存' (Save image) button in the confirmation dialog.

The map itself shows a detailed view of a coastal area with labels for '読谷村' (Yonoyama Village) and '嘉' (Kashi). A scale bar indicates 300 meters.